

基本施策3 多様な学習の展開

施策9 現代的・社会的課題に対応する学習の推進

施策9 現代的・社会的課題に対応する学習の推進

方針

年齢や国籍、障害の有無等にかかわらず、誰もが生涯を通して、教育や芸術文化、スポーツなど様々な機会に親しむことができるよう、参加しやすい環境づくりを進めるとともに、時代の変化、社会の変化等に対応できるよう、関係機関と連携して情報や学習機会の提供に努めていきます。

現状と課題

高齢化や情報のデジタル化、国際化等、社会変化が急速に進んでいます。自然災害の激甚化・頻発化、新たな感染症の脅威など、先行きが見通しにくく、予測困難な時代となる中、変化に適応し、自ら学び続ける力が求められます。

持続可能で、多様性と包摂性のある「誰一人取り残さない」社会の実現が世界共通の目標とされています。教育・学習の分野においてもSDGsで掲げる「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」という目標を達成するための取組が進められています。

市では、情報のデジタル化、高齢者の生きがいづくり、健康に関することや国際理解と多文化共生※等の講座を実施し、様々な学習・意識啓発の機会を提供しています。

また、高齢者や障害のある方を対象とした学びやスポーツ・レクリエーションの機会を設けています。

「命を守る」学習の重要性も強く認識されるようになり、地域防災力の向上を図るための講習会等の実施や支援を行っています。

人生100年時代といわれる中、健康意識の高まりに沿った、健康とスポーツが連携した講座等も実施し、健康づくりやスポーツ活動の習慣化につなげています。

あわせて、働き方も変化していることから、仕事に生かすための様々な知識の習得や資格の取得、就労のための学習、起業・創業等、個々の人生設計やキャリアに応じた学習機会が必要です。

社会が急速に変化する中で、市民一人一人が、ICT（情報通信技術）を始めとする新しい技術を最大限活用しながら、自分の興味・関心や、人生設計に合わせて、仕事や生活に必要な知識や技能を身に付け、社会の変化に合わせて継続的に更新していくことが必要です。

基本施策3 多様な学習の展開

施策9 現代的・社会的課題に対応する学習の推進

事業の方向性

○国際理解や多文化共生※等の促進のための学習機会の提供

持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するため、国際理解や多文化共生、環境などに関する学習機会を提供します。

○高齢者への学習機会の提供

自らの生きがいや趣味のための学習機会を提供するとともに、デジタル化の進展に対応できるよう、デジタル・デバイド※解消などの事業を実施します。

○健康に関する学習機会の提供

生活習慣病予防やフレイル※予防など健康に関する学習機会を提供します。

○社会的課題等に対応する学習機会の提供

全ての人々に共通する「防災・減災」「防犯」「交通安全」などの「命を守る」ための学習機会を提供します。

また、社会人になってからの「生きがい」や「趣味」などに関わる学びのほか、「就業」「起業・創業」に向けた学び、「地域課題」「自らの課題」の解決に向けた学びなど、多様なニーズに対応した学習機会を提供し、社会人の学びや学び直し（リスキリング）を支援します。

※多文化共生

- 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

※デジタル・デバイド

- インターネットやパソコン等のICT機器を利用できる者とできない者の間に生じる格差のこと。

※フレイル

- 「虚弱」を意味する単語で、加齢による体力低下や生活環境の変化などにより、社会とのつながりが希薄となり、他の人の手助けや介護が必要になるなど、心と体の働きが弱くなってきた状態のこと。